

鴻巣市市制施行70周年記念事業

弦楽合奏団 Ensemble Konosu Virtuoso

アンサンブル鴻巣

ヴィルトゥオーゾ

第28回定期演奏会

フォーレ
没後100年

オール・フォーレ プログラム

マスクとベルガマスク組曲 Op.112

ペレアスとメリザンド組曲 Op.80

レクイエム Op.48

〈指揮〉矢崎彦太郎

〈演奏〉アンサンブル鴻巣ヴィルトゥオーゾ

〈合唱〉ヴィルトゥオーゾとフォーレ「レクイエム」を歌う合唱団

〈合唱指導〉國土潤一

©有田周平

2024年 **10/27**日 14:00開演
(13:30開場)

入場無料 全席指定

鴻巣市市制施行70周年記念による (入場チケットが必要です)

鴻巣市文化センター(クレアこうのす) 大ホール

※小学生より入場可

〈プレイガイド〉

・クレアこうのすチケットセンター

☎0570-666-534 (10:00~18:00)

※一部携帯電話・IP電話からは受付できません。通話料はお客様ご負担となります。

・オンライン予約 <https://clea-konosu.com>

チケット引き換え・お求めは、クレアこうのすチケットセンター(窓口営業時間 9:00~18:00)
または、お近くのセブンイレブン(手数料がかかります)まで

後援▶埼玉県・埼玉県教育委員会・鴻巣市・鴻巣市教育委員会

主催▶公益財団法人 鴻巣市施設管理公社 埼玉県鴻巣市中央29番1号

☎048-540-0540 e-mail info@clea-konosu.com

<https://clea-konosu.com>

※都合により曲目、出演者等を変更させていただく場合がございます。予めご了承下さいませ。

※点訳プログラムをご用意いたします。

本公演のホームページへはこちらのQRコードを読み取りください▶



弦楽合奏団
アンサンブル 鴻巣
ヴィルトゥオーゾ
Ensemble Konosu Virtuoso

平成12年(2000年)10月、鴻巣市文化センター〈クレアこうのす〉オープンと同時に、故櫻井將喜氏の提言により当ホールをフランチャイズホールとして生まれたのが「アンサンブル鴻巣ヴィルトゥオーゾ」です。埼玉県内外に多くの合奏団が存在しますが、フランチャイズホールを持つ弦楽合奏団としては、県内では初めて。国内楽壇第一線で活動中のベテランプレイヤー、そして、厳しいオーディションを通じて選ばれたプレイヤーにより、構成され、その音楽性は極めて高く、まさに「ヴィルトゥオーゾ」の名前どおりのクオリティを持っています。数々の音楽集団が「ヴィルトゥオーゾ」を冠する中、鴻巣の多くの方へ聴いていただくために、そして広く鴻巣を知っていただくために創設された「アンサンブル鴻巣ヴィルトゥオーゾ」は、県央・鴻巣で極めて高い芸術性を追求し、発信しています。

兎東俊之(うづかとしゆき) 代表芸術総監督・首席ヴィオラ



東京藝術大学卒業。在学中に安宅賞を受賞。卒業と同時にNHK交響楽団に入団、1968年西ドイツ政府給費交換留学生として渡独。ミュンヘン・バイエルン放送オーケストラ、ボン・ベートーヴェンハレ・オーケストラ首席ヴィオラ奏者を歴任。1975年フランス・ポルドー国際音楽祭ソロ部門にて銀賞受賞。1977年帰国後、毎年ヴィオラソロリサイタルを中心に、ヴィオラの新しいレパートリーを意欲的に開拓。邦人作曲家の新曲初演等にも積極的に取り組む。

1986年夏にスロヴァキア、翌夏フランスのトゥールーズにおいてヴィオラ・セミナー、コンクールに於いて招聘、指導にあたる。1988年、オーケストラ・アンサンブル金沢発足以来約10年に亘り、客員首席ヴィオラ奏者として活躍。1996年ミュンヘン国際コンクールにて弦楽四重奏部門、1997年にはヴィオラ部門のコンクール審査員を歴任する。

国内のみならず、海外の著名な演奏家との共演も多い。メロス弦楽四重奏団、数回にわたるバルトーク弦楽四重奏団との共演は特に好評を博した。ウィーン弦楽ソリストとの共演でヴァイオリン奏者ライナー・ホーネック氏、又ベルリン室内管弦楽団で、ヴァイオリン奏者ハインツ・シュンク氏とのモーツァルトのヴァイオリンとヴィオラの協奏交響曲の演奏は高い評価を得た。

放送録音、後進の指導にも力を注いでおり、ヴィオラ奏者の第一人者との声が高い。近年、指導者としてもアンサンブル、室内楽等で活躍している。

東京音楽大学、東京藝術大学、愛知県立芸術大学、昭和音楽大学等でヴィオラ部門を教授。2001年より2005年迄、東京音楽大学学長を務める。また、くらしき作陽大学大学院音楽研究科科長、顧問理事、副学長を務める。2002年長野県に「アンサンブル信州in宮田」を設立し音楽監督、顧問に就任。2005年より埼玉県鴻巣市文化センター「アンサンブル鴻巣ヴィルトゥオーゾ」代表芸術総監督に就任。2014年より東京文化会館主催、東京音楽コンクール弦楽部門審査員。江戸川区新進音楽家コンクール弦楽部門審査員。練馬区新人演奏会出演者選考審査員。2014年「長野県宮田村ふるさと大使」の要請を受け了承。現在、東京音楽大学名誉教授。

矢崎 彦太郎(やざきひこたろう) 指揮



©有田周平

上智大学数学科に学び、さらに東京藝術大学指揮科で指揮法を学ぶ。日本フィルハーモニー交響楽団指揮研究員として小澤征爾の助手を務めた後、ヨーロッパに渡り、H.スワロフスキー、Z.コシユラー、F.フェラーラ、S.チェリビダッケ、P.デルヴォー各氏に師事。プザンソン国際指揮者コンクールなどに入賞を果たし、1975年ボーンマス交響楽団を皮切りに本格的に指揮活動を開始、BBC交響楽団などに招かれる。79年よりパリに拠点を移す一方、同年には東京交響楽団定期演奏会を指揮し日本でも本格的なデビューを果たす。これまでに、東京交響楽団指揮者、旧西ドイツホフ交響楽団音楽監督・首席指揮者、フランス国立トゥールーズ室内管弦楽団、ノルウェー放送管弦楽団、及び東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団首席客演指揮者、バンコク交響楽団音楽監督・首席指揮者、ジャカルタのヌサンタラ交響楽団音楽監督などを歴任。現在、バンコク・シルパコン・サマー・ミュージック・スクール/ミュージック・アドバイザー、バンコク・プロムジカ・オーケストラ客演指揮者。2000年フランス政府より芸術文化勲章シュヴァリエを、08年には同オフィシエ勲章を受勲。02年エクソンモービル音楽賞奨励賞を受賞。12年度文化庁「文化交流使」。21年「芸術を通じた日本と諸外国との文化交流促進に尽力し、友好親善に寄与した」事に対し外務大臣表彰を受ける。パリと東京に活動拠点を置く。

戸澤哲夫(とざわてつお) コンサートマスター



東京藝術大学を経て同大学院修士課程を修了。大学院在学中の1995年、東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団コンサートマスターに就任、現在もその重責を果たしている。1994年のアルペリ弦楽四重奏団を結成メンバーであり、1996年には安田弦楽四重奏団に加わる。また、各地でのリサイタル活動に加え、東京シティ・フィルをはじめ東京フィルハーモニー交響楽団、仙台フィルハーモニー管弦楽団、日本センチュリー交響楽団、広島交響楽団などと共演を重ねている。1998年よりドイツ・ベルリンに留学、元ベルリン・フィル コンサートマスターの故ライナー・クスマウル氏のもとで研鑽を積む。帰国後の2001年に新たにメンバーとなったモルゴア・カルテットでは、他に類を見ない切り口の斬新さに評価が高まり、2010年度アリオン賞、2015年第14回佐川吉男音楽賞奨励賞、2017年第47回JXTG音楽賞本賞を受賞。BS-TV東京「エンター・ザ・ミュージック」レギュラー・カルテットとして結成されたThe 4 Players Tokyoではリーダーを務め、エネルギーあふつく繊細な演奏のみならず、番組での軽妙なトークでも好評を集め、今後の展開にさらなる期待が高まっている。2022年アンサンブル鴻巣ヴィルトゥオーゾコンサートマスターに就任。

鴻巣市文化センター(クレアこうのす)

公益財団法人 鴻巣市施設管理公社 〒365-0032埼玉県鴻巣市中央29-1 ☎048-540-0540
Eメール info@clea-konosu.com ホームページ https://clea-konosu.com

電車・バスでお越しの方は

- JR高崎線鴻巣駅(東口)より 徒歩約20分
- JR高崎線鴻巣駅(東口)より
バス(3番乗り場)免許センター行き 約5分
「市役所」又は「免許センター」下車

お車でお越しの方

- 大宮方面から首都高速埼玉大宮線「与野出口」より
国道17号熊谷方面へ 約45分
- 関越自動車道「東松山I.C.」より 約40分
- 東北自動車道「加須I.C.」より 約20分
- 圏央道「桶川加納I.C.」より 約20分

※駐車場の数が限られています。公共交通機関をご利用くださいますよう、ご協力をお願いいたします。

